

# ふらっと.come!

New!!

平成25年 7月22日 第31号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会 「ふらっと船橋」  
〒273-0011 船橋市海神1-31-31 ジュネス海神101  
TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776  
HP <http://www1.ocn.ne.jp/~flatcome/>  
Email [flat-funabashi@key.ocn.ne.jp](mailto:flat-funabashi@key.ocn.ne.jp)



## ごあいさつ

船橋市障害福祉課 相談支援係 安孫子まさみ

みなさま、はじめまして。相談支援係でケースワーク班取りまとめ・地域生活支援事業を担当しています安孫子と申します。私は障害福祉課に配属されて3年目になります。

昨年度までは、地域生活支援事業の全般を給付事業係で担当しておりましたが、今年度より日中一時支援、移動支援等の障害福祉サービスを補完する事業の一部をもって、給付事業係から相談支援係に異動してまいりました。私は、市役所に入所してから、早〇〇年…(;\_ \_)

現在の障害福祉課は、市役所で4課目になりますが4課すべてにおいて窓口に係る仕事をしてきました。同じ窓口業務とはいえ、障害福祉課は毎日が勉強、勉強 ((-\_-)/~~~ピシー!ピシー!) この一言につきます。

日頃の仕事内容は、決まった仕事をこなす一日は少なく、窓口にお越しになった方の相談や、電話対応などでお話を聞かせていただく日々が多く、あっという間に1日が過ぎていくように感じています。

障害者に対する法律はめまぐるしく変化し、類似したサービスや、たくさんの事業があり、たくさんの知識と、知識を活用できる自分なりの引き出しがないと、市民の方にわかりやすい説明が出来ず、ただの物足りない相談相手になってしまうので、制度や、事業を理解し、わかりやすく説明できるように日々勉強! 勉強!! ((-\_-)/~~~ピシー!ピシー!)

とはいうものの、まだまだ勉強不足であり、経験不足です。(-\_-)

障害者の方の体調や、環境、家族の状況、を考えるとそれぞれの支援方法があり、障害当事者にとって、家族にとってどんな支援を提供すること、提案することがベストなのか毎日、毎回、模索している日々です。障害者本人の方、障害者を支えるまわりの方、家族にとって、市役所に行って相談してよかったと思ってもらえるように、精一杯の対応ができるようにこれからも頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 触法 part II

先日、千葉定着支援センターの視察研修で「神奈川医療少年院」へ行ってきました。とっても暑い日で当然と言いますか現地ではエアコンを使用できる建物は少なく、説明を受ける部屋以外は・・・(汗!) という状況でした。担当者の制服はクールビズの生地ではなくシャツの色が変わるくらいで、これが当たり前であることや医療少年院の説明を「特別支援学校」に近い所であるとのことなど。日課としては体力作りや作業



勿論、学習も含めて社会に帰る前提で生活面から指導・支援を行っているそうです。少年院の中でも医療少年院は院生と刑務官の距離が近いという事を話されていて、特別少年院では絶対にあり得ないスキンシップも医療少年院独特の関わりとの事でした。担当者の説明に「ここにいる子ども達の殆どが虐待やネグレクトなどの経験を持ち、家族から疎外されてきた子たちです」と硬い表情で話されていました。(対象は12歳以上26歳未満で身体または精神に著しい疾患のある者)

所長 shi…!

### ワンポイント講座・・・① 相手の理解できるポイントを探す

勉強が苦手な発達障害の方や、知的障害の方に多い特徴として、次の2点が挙げられます。①「耳からの情報(声で聞く)」より「目からの情報(目で見える)」が分かりやすい。②「耳からの情報の記憶量が少ない(長い文章を話されると内容がわからなくなる)」。

そのような方に話す際、こちらが気をつける点は「話す言葉が難しすぎないか」「いっぺんに多く話しすぎているか」「話すスピードが早すぎないか」などです。

また、相手がこちらの話を理解しているかを判断するには「相手の表情・態度を観察する」という点が大きなポイントになります。次のような態度を示した場合、理解している可能性が高いです。例えば、「今まで外を向いていたのがこっちを向いた」「ポカンとした表情だったのが、話し方を変えたら目が輝いてきた」「こちらの話に頷く」「こちらが言った単語を繰り返す」などです。

例えば初対面の方に「私達は市内にお住まいの方で障害をお持ちの方の相談支援をしております」と挨拶した時に、相手がポカンとしていたとします。それでは相手にとって文章が難しすぎるので、もう少し言葉を簡単にし、文章を短く、ゆっくり話します。「私達は船橋市に住んでいる人のお手伝いをしています。困ったことをなくすお手伝いをしています」など文章の難易度を合わせます。これでも難しければ更に難易度を見直します。例えば「〇〇さん、いまお出かけする所なくて困っているでしょう。私たちと一緒に出かけるところを探しましょう」と相手が理解できそうな話し方にします。本人が理解できそうな具体例も交えて話すといいでしょう。そうする内に、本人が理解できる話し方が見つかります。

もしかしたら最終的には短い単語ばかりになってしまうかもしれません。また、耳からの情報の記憶量が少ない方は、紙にキーワードとなる単語を書きながら、指差しながら話すといいでしょう。イラストを書くのが得意な方は、簡単なイラストを描いて説明するとぐっと理解が深まるでしょう。

「相手が理解できる話し方を見つけよう」という姿勢を心がければ、理解できる話し方は見つかるものです。まずは試してみてくださいはいかがでしょうか。

相談員 須合(臨床心理士)

### お知らせ!!

#### ●FAS-net

#### \* 研修委員会 \*

日時: 7月24日(水)

午後13時半から

場所: 福祉サービス公社 5F

・次回、研修・事例検討会等の企画について

#### § 第7回 例会について §

日時: 8月14日(水)

午後14時から

場所: 市役所11F 大会議室

#### ●千葉県相談支援事業連絡協議会 15回研修会(CSK)

日時: 8月22日(木)

午前10時~16時

場所: 千葉東駅前DC会館  
中会議室

参加費: 1,000円

テーマ: 「もう1度、相談支援を  
基本から」

講師: 富岡 貴生 氏

・かながわ障がいケアマネージメント  
従事者ネットワーク(KCN)理事長

※ CSK 会員優先となります。

#### ロゴマークを一新! New!

特に大きな出来事や記念的な事があった訳では無いのですが・・・(半分は思いつき?)夏っぽさは残しつつ、すっきりまとめてみたら案外良かったと言うのが感想。何故に気球・カモメ・ヤシの木か?という事は聞かないで頂けたら・・・  
ともかくエンブレム感覺到満足しています。

shi…!